

第19回（2021年度）日本原子力学会 計算科学技術部会賞 受賞候補者推薦の募集
募集期限 2021年：12月24日(金) 贈呈(予定)日 2022年3月春の年会期間中

第19回「日本原子力学会 計算科学技術部会賞」受賞候補者の推薦を募集いたします。以下の募集要綱をご参考の上、適当と思われる部会賞候補者を多数ご推薦下さるようお願い申し上げます。

募集要綱

1. 受賞資格 原則として本部会の会員
2. 募集方法 正会員または賛助会員代表者の推薦による（自薦・他薦を問わない）。
3. 受賞対象 原子力における計算科学技術分野の発展，進歩に顕著な貢献を為した個人又はグループとする。
4. 賞の種類等
 - (1) 部会功績賞：計算科学技術分野において幅広くかつ顕著な貢献のあった個人を対象とし、毎年1名以内とする。
 - (2) 部会業績賞：計算科学技術分野において顕著な学術または技術上の業績のあった個人またはグループ（連名）を対象とし、毎年2件以内とする。原則として、当該年度の応募締切日時点で、学会和文論文誌あるいは英文論文誌のいずれかに、論文が掲載されていることを条件とする。
 - (3) 部会奨励賞：計算科学技術分野において顕著な学術または技術上の業績のあったおおむね40才まで(当該年度3月31日において)の個人を対象とし、毎年3名以内とする。少なくとも、応募締切日時点で学会が主催ないしは共催する国内外の会議で口頭発表の実績を有していることを条件とする。
 - (4) 部会 CG 賞：原子力の計算科学技術分野において結果の表示・可視化について優秀な業績のあった個人またはグループ（連名）を対象とし、毎年2件以内とする。少なくとも、応募締切日時点で国内外の会議等で口頭発表の実績を有していることを条件とする。
 - (5) 部会学生優秀講演賞：計算科学技術分野において、他の模範となる講演を行った学生を対象とし、毎年4名程度とする。日本原子力学会「春の年会」あるいは「秋の大会」での計算科学技術セッション（区分コード305-1）で口答発表していることを条件とする。
 - (6) 部会功労賞：計算科学技術部会の発展に顕著な功労のあった個人を対象とし、毎年2名以内とする。

(7) その他

- ・部会業績賞・部会CG賞・部会奨励賞は、募集期限を起点とする過去の3年間に公表された原子力平和利用に関する学術および技術上の優秀な成果を対象とする。ただし、複数の会員が共同してなした成果であっても、受賞者は原則として3名以内とする。
- ・上記のいずれの賞も、該当する対象がないときは授与しないものとする。

5. 賞 本賞は表彰楯又は賞状とする。

6. 応募方法 所定の推薦書に必要事項を記し、論文別刷などの参考資料と併せて、本ページ最後に記載の「問い合わせ・応募先」まで送付して下さい。なお、部会CG賞については、当該表示・可視化技術によるCG（静止画あるいは動画）の代表的事例も併せて送付して下さい。その際、CGのタイトルと簡単な説明（100字～300字程度）も送付して下さい（CGのサイズが大きくe-mailで送れない場合は、別途郵送先をご連絡致しますので、その旨お知らせ下さい）。送付されたCGについては、ニュースレターの表紙やホームページでの公開、および、（ダウンロード等による）提供等に使用させていただくことがあります。従いまして、CGの著作権にご注意ください。

（著作権に関する注意点については、日本原子力学会のHPにある「著作権に関する注意点」（以下URL）をご参考ください。

<http://www.aesj.net/publish/jnst/copyright-duplicate-attension>)

7. 募集期限 2021年12月24日（金）必着〔下記「応募先」の項参照〕

8. 選考結果の通知 選考結果は、2022年2月下旬に通知する。

9. 贈呈(予定) 2022年3月 日本原子力学会2022年春の年会
計算科学技術部会全体会議時

10. その他 「受賞概要」を計算科学技術部会ホームページ及びニュースレターに掲載する。

11. 選考 計算科学技術部会内に表彰小委員会を設置して選考を行う。

問い合わせ・応募先

日本原子力学会計算科学技術部会部会長 鈴木 喜雄

e-mail : award@csed.sakura.ne.jp